

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

別添資料6

公表:令和7年2月6日

事業所名 はななるむ

保護者等数(児童数) 3 回収数 2 割合 66 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	2					
	2	職員の配置数や専門性は適切である	2					
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2					
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	2					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2					
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	2					
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1			1		
適切な支援の提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	2					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	2					
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	2					
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2					
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	2					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1			1		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	2					
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	2					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	2					

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	2					
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	2					
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1			1		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	2					
	23	事業所の支援に満足している	2					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和7年2月6日

事業所名 はなる一む

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		人数的に充分である。	利用人数に対して十分なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	4		欠席が出ると多いくらいです。	適切な人員配置を行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		トイレや車両については座りやすいように補助器具を設置しています。	事業所内は段差がないようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎日清掃を行っています。机の配置は空間を広く取れるよう設置しています。	毎日の清掃を行うとともに、テーブルを移動するなどして活動に合わせてスペースを作っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		週1ミーティングには常勤職員は全員参加しています。	業務の効率化などを最低でも週に1度は職員間で話し合っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		配布・回収し週1ミーティングでの議題としている。	保護者の意見を収集し、事業所内でどこまで対応できるかの検討をしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	毎年公開している。	毎年ホームページにて公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		必要に応じて検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	定期的に研修を受けるよう上長から指示される。	今後も外部の研修に定期的に参加していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		アセスメント後は担当者会議を行い、保護者の意見を多角的に判断し、計画を作成しています。	アセスメントでお子様・保護者様のニーズを聞き取り、各職員の意見を取り入れながら個別支援計画書を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		アセスメントツールを用いて適応行動の把握を図っています。	子どもの状況を把握するため標準化されたアセスメントツールを使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		個別支援計画には各職員の意見を踏まえた上で、適切な項目を選択の上、設定されている。	移行支援を中心に、本人支援・家族支援を行っています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		担当者会議にはメイン担当者がしっかりと参加し、計画を支援に反映させている。	計画の変更を要する時には、保護者とも相談の上、支援の方向性を見直しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		週1ミーティングで月・週の活動プログラムを設定している。	活動内容はミーティングで各職員の意見を取り入れながら取り決めていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		週1ミーティングで月・週の活動プログラムを設定しています。	お子様の年齢等に応じて活動プログラムを作成しています。新たな活動を取り入れるなどの工夫も行っています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4		基盤のプログラムが集団と個別の時間をそれぞれ設けているということもあり、それに沿って各児童の計画を作成している。	就学準備段階に合わせての個別学習と、集団で行う活動を組み合わせることで日常の支援を行っています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	送迎前に簡単な打ち合わせを行うことが習慣化されている。	その日にどのような集団活動を行うかなど支援の役割分担を決めて取り組んでいます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	送迎後に連絡帳を書きながら共有事項についてやり取りしている。	特記事項や気になった点など、職員間で共有しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1	日々の記録を管理システムに徹底して行っている。	日々の記録を徹底しており、支援の改善点や検証事項を共有しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		ひとりひとりにモニタリングスケジュールを設定して。	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	児発管が中心となり対応している。	子どもの状況に精通した職員の意見を取り入れた上で児発管が参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	2	児発管が中心となり対応している。	現在、母子保健や子ども・子育て支援等関係者との連携は行えておらず、必要に応じて検討していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	3		現在、医療的ケアが必要なお子様は通所していません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		4		現在、医療的ケアが必要なお子様は通所していません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	児発管が中心となり対応している。	保育所にお迎えお送りの際に日々の情報共有を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3	児発管が中心となり対応している。	保護者を通じて情報の共有を行っています。送迎時などに普段の様子をお話することもあります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	児発管を中心に研修などあれば上長より指示がある。	必要に応じて外部の研修に参画しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	現状の利用者は保育所に通園している。	事業所としての交流はないですが、利用されている児童は保育所に通われているので、色々なお子さんとの交流があります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		4	現状行えていない。	実際に参加できる時間や必要性があるかどうかも含めて、今後事業内の職員で話し合いを行い、検討したいと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		連絡帳やメッセージのやり取りを行っている。	継続して連絡帳やメッセージ、また送迎時に保護者の方とお話しをすることで、お子さんの状況について共通理解を行います。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2	アセスメント時や、電話対応などにより相談を承ることはある。	保護者の方に対しての支援を、今後さらに増やしていくことができないか検討します。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に時間をかけて説明させてもらっています。	これからもより丁寧な説明を心がけます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		契約時に同意を得ています。	これからも支援内容について丁寧な説明を心がけます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		児発管が電話対応やメッセージのやりとりを行い、実施している。	これからも保護者の方の相談に丁寧に対応していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	現状行えていない。	これから事業所内で実際に行えるか検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		相談や申し入れがあった際に、職員間でミーティングを行い迅速に対応している。	これからも迅速に保護者の方の相談や申し入れについて、適切に対応していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		イベント実施については事前にチラシを配布している。	お子さんが参加したいと思えるようなイベントをこれからも考案していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4		シュレッターや鍵付き書庫を活用。	これからも徹底して個人情報の取扱いについては、職員間で注意していきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		お電話やメッセージのやりとりにて対応している。	これからも十分に配慮をしていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	事業前に立て看板設置し、イベントの内容は載せているが、招待はしていない。	今後必要性があるかどうかも含めて、職員間で検討します。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		職員は研修にて行っている。来所されているお子さんについては避難訓練を実施している。	これからも研修等で、職員については常に緊急時に対しての想定を行い、お子さんについては継続して避難訓練を実施します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		避難訓練を実施している。	継続して非常災害の際の訓練を行っていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		契約時に確認している。追加で情報が随時保護者より確認。	これからも保護者の方とのやり取りを通じてこまめに確認を行います。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	医師の指示書がある場合であれば、その通りに対応している。	これからも継続して行います。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		保管ファイルを作り、随時作成している。	これからも継続して行います。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		毎年研修を行っている。	これからも継続して行い、職員間での意識を徹底づけていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1	現状そういったお子さんはおられないので、支援計画に記載している児童はいない。	現状は支援計画に記載しているお子さんは来所されていませんが、今後そのようなお子さんが来られる場合には、支援計画に記載した上で、細かく説明を行い対応します。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

別添資料11

公表: 令和7年2月6日

事業 はな一む

保護者等数(児童数) 20 回収数 17 割合 85 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	1				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14			2		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13			4		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	17					
	5	<u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	17				色々な経験をさせてくださりありがとうございます。	今後も様々な企画を立案してまいります。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6		3	8		
保護者 への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17					
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	5	8		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15			2		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17					
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17					
非常時 等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	16	1				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12			5		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9			8		
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17					
	18	事業所の支援に満足しているか	17				いつもありがとうございます。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和7年2月6日

事業所名 はなる一む

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		人数的に充分だと思う。	利用定員に対して十分なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	4		欠席が出ると多いと感じることもある。	人員配置は適切に行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4		段差がないようになっている。	事業所内に段差がないようにしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		最低週1回、常勤職員全員参加のミーティングを行っている。	非常勤職員にも申し送りノートを活用して周知している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		保護者の意向をミーティングでの議題として取り上げている。	毎年評価アンケートを実施し、意向を収集しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		毎年公表している。	毎年ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		必要に応じて検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		定期的に研修を受けるよう上長から指示される。	今後も外部の研修に定期的に参加していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		アセスメント後は担当者会議を行い、保護者の意見を多角的に判断し、計画を作成している。	アセスメントでお子様・保護者のニーズを聞き取り、各職員の意見を取り入れながら個別支援計画書を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		アセスメントツールを使って、適応行動の把握を図っている。	子どもの状況を把握するため標準化されたアセスメントツールを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		ミーティングで月・週ごとのプログラムを設定している。	活動内容はミーティングで各職員の意見を取り入れながら取り決めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		ミーティングで月・週の活動を立案し、物品の導入も検討している。	お子様に応じて個別にプログラムを作成して実施しています。集団で行う活動については、新たな活動を取り入れるなどの工夫を行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		日別にプログラム・議題を設定している。	平日と学休日の活動はわけて行っており、イベントなどの活動も月ごとに設定して周知しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		基盤のプログラムで集団と個別の時間を設けているということもあり、それに沿って子どもの計画を作成している。	個別活動と集団活動を組み合わせる日々の活動を実施しています。個別支援計画についても個別・集団を念頭に置いて作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		送迎前に簡単な打ち合わせを行うことが習慣化されている。	特筆すべき事項がある場合は入念に打ち合わせの上、支援にあたっています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	送迎後に連絡帳を書きながら共有事項についてやり取りしている。	その日に気になることがあった場合は職員間での情報共有を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		日々の支援を連絡帳に記録することを徹底している。	日々の記録を行うとともに、改善点や検証事項を共有しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		ひとりひとりにモニタリングスケジュールを設定している。	基本的にはスケジュールを組んでモニタリングを行っています。生活状況が変わったり、利用の仕方が変わるなどの大きな変化がある時はその都度見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4		集団・個別活動を通じて、子どもごとに必要な領域の項目を実施している。	自立に向けた支援、生活動作の習得、創作活動、余暇活動などの活動を組み合わせ支援を行っています。
	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	児発管が中心となり対応している。	児発管が参画し、各職員に周知しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		児発管が中心となり対応している。	学校の下校時刻の変更などは保護者を通じてお知らせいただいています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4	現在対象者がいない。	現在は対象児童の受け入れはなく、必要に応じて可能な対応を整えます。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3	児発管が中心となり対応している。	就学後は同じ保育所や幼稚園に通園している他児がいない場合、密な連絡は取っていません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4	現在対象者がいない。	現在対象児童はいないものの、移行の際は情報の共有を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	児発管を中心に研修などがあれば上長から指示がある。	必要に応じて外部の研修に参画しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	1	いきいきに通う子どもも多数いる。	事業所として児童館などへの交流は現在は行っていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3		地域の事業所連絡会に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時や連絡帳、メッセージを活用している。	連絡帳や送迎時に日頃の情報をお伝えし、特記事項や相談などはメッセージや電話で共有しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	アセスメントや日頃のやり取りで児発管から保護者へのアドバイスなどはある。	ご相談いただいたことに状況に応じて対応しています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に説明しており、質問があれば随時対応している。	利用契約時に説明を行っています。支援内容の変更、疑問に思うことや質問などは随時対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		児発管が中心となり対応している。	面談の日程を設定したりお電話にて相談する機会を設けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	横のつながりは薄めだと思う。	父母の会は企画していないが、年1回のペースでお子様の様子を参観していただく機会を作るよう企画をしていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		対応マニュアルに従い、職員間で即座にミーティングを行い、対応を開始する。	苦情に対する体制を整備しており、迅速に対応することを心掛けています。職員間での共有も行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		毎月イベントのチラシを配布している。	毎月のイベントをお手紙にて周知しています。メッセージや電話にてイベント参加を受け付けています。
	35	個人情報に十分注意している	4		鍵付きの書庫に保管し、十分に注意している。	鍵付きの書庫に厳重に保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		視覚支援や記述するなどの配慮を行っている。	視覚支援を行い、意志伝達を行いやすいように配慮を行っています。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	招待はしていないが、地域に向けてどんなイベントをしているかメッセージボードを設置している。	地域の住民を招待することはないが、外部に向けたメッセージボードを設置して事業所のイベントを周知しています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	各種マニュアルを策定しており、職員は確認できている。子どもと共に避難訓練を実施している。	各マニュアルを策定して職員に周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		各種マニュアルを策定しており、職員は確認できている。子どもと共に避難訓練を実施している。	非常災害に備え定期的に避難訓練や防災センターで防災体験に参加しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		マニュアルに沿って定期的に研修の指示がある。	定期的に虐待防止研修に参加し、適切な対応ができるよう日々心掛けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1	計画に記載が必要な子どもが現在はいない。	現在、身体拘束を行うような事例がないが、保護者には原則身体拘束は行わない旨を周知しています。やむを得ず身体拘束を行う場合は必ず必須項目を満たし、了承を得ることをお伝えしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	契約時及び随時保護者より確認している。	アレルギーについては医師の指示書は発行されていないが、口にすることがないように除去したおやつを用意しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		保管ファイルを作成し、保管している。	ヒヤリハット事例集を作成しており、職員間で共有しています。